

## 各委員からの主な意見について

### ○提言の構成について（項番 7：各委員からの主な意見について）

#### 【黒門小学校】

- ・現役で使用している小学校ということに大変意味がある。例えば、卒業式の際に校長先生等から「皆さんは大変歴史のある小学校で学んだのですよ」と伝えてもらうなど生徒達の記憶に残るよう努めて欲しい。

#### 【東浅草小学校】

- ・台東区公共施設保全計画の実施計画に記載されており、大規模改修を行う際は、校舎の歴史的価値や公園との関係性について検討していただくことで、使いこなすにふさわしい改修計画になると考えます。
- ・大規模改修については、先生方や生徒の方々の希望にあわせ全て改修をしようという提案が挙げられることもあると思われる。その点については、見せるために残す部分やより使いやすく変更する部分等について慎重に議論を進め、歴史的な価値をより深め、地域の方にも意義深く使用していただけるよう進めて欲しい。
- ・現役で使用している小学校ということに大変意味がある。例えば、卒業式の際に校長先生等から「皆さんは大変歴史のある小学校で学んだのですよ」と伝えてもらうなど生徒達の記憶に残るよう努めて欲しい。

#### 【旧小島小学校】

- ・区民の方々が復興小学校を実際に体験できる良い場所であると思われる。そのため、他自治体の類似事例も参考として開かれた施設にするとともに、トイレや屋上のパーゴラなどの特徴的な部分の利用も含め整備の方向性を考えて欲しい。
- ・関東大震災の復興計画では、復興小学校と復興小公園を一体的に設計・整備しており、校庭と公園には仕切る塀がなく生徒と東京市民に一体的に利用されることを想定していた。そのことから、将来的には校庭と小公園を一体的に使用できるよう開かれた空間とすることが望まれる。
- ・地域住民に開かれた施設構成を考える場合、1階をフリースペースとカフェ、2階はデザイナーズビレッジ、3階はデザイナーズビレッジ、中小企業振興センター事務所とし、校舎全体を活用することが望まれる。1階をフリースペースにする際には、現在中小企業振興センターとデザイナーズビレッジを区分けする壁の撤去を検討して欲しい。
- ・屋上の円型の塔屋は復興小学校として特徴と価値を有しているため、開放をすることで地域住民の憩いの場とすることもできる。なお、屋上を開放する際は、動線確保とバリアフリーのため EV 設置の検討を要するが、設置する際は校舎内側（現駐車場）を利用し外観に配慮した形状とすることが望ましい。（シャフト付・透明 EV）

- ・東京市により整備された公園を全て戦前の設計どおり復元する必要はないが、整備意図などを考えながら一番良い使い方を検討していくことが、台東区ブランドの価値を高めることに繋がると思われる。
- ・デザイナーズビレッジ等の活動を更に拡大するなり、復興小学校のポテンシャルを活用することで、旧小島小学校を新しい産業の業態や支援をする拠点施設として進化させることができ、その結果として校舎の保存につながると思われる。
- ・中小企業振興センターとして名称を定めているが、施設を総合的に捉えたときに愛称があってもよいと思われる。
- ・施設名称は、職人・工芸の拠点施設との意味から「クラフトミュージアム」とし、1階のミュージアムショップでは、区内の名工、歴代デザイナーズビレッジの卒業生・現役の品物を販売し、クラフトカフェ（バル）では、カップも卒業生の作品を使用し、抹茶、ドリンク、クラフトビール等を販売するとよいと思われる。区内の和菓子・洋菓子、インテリアに卒業生・現役入居者の作品を使用するなど工夫することでより魅力を高められる。  
また、浅草文化観光センターとは別の機能として、区の伝統技術工芸と現代クラフトを一体的に説明する展示があってもよいと思われる。例えば、区内の名工の仕事ぶりが映像として見れるようにし、さらに、国内や海外からの特注品（外科手術の道具、刀の鞘の手入れの道具など）も展示するとこともあってよいと思われる。
- ・校舎外観からも円型のトイレは特徴的であるため、トイレ部分は内装設備を全面的に改修して、女性利用を重視し、「最新トイレのショールーム」的な利用も検討するとよいと思われる。
- ・快適なトイレ、美味しいお菓子とお茶が話題となり、女性が来るようにするとよいと思われる。